

広報 きたうら

昭和60年5月号 No.245

発行 北浦村役場 編集 調査企画室
茨城県行方郡北浦村山田2564-10 ☎311-17 ☎0291-5-2111(代)

科学万博「北浦村の日」

昭和60年度予算

一般会計・特別会計

「北浦村民憲章」

「村の花・木・鳥」制定へ

選挙管理委員会人事

住民意識調査を実施

健康手帳～高血圧シリーズ～

晴天に恵まれた5月11日、北浦中学校の2年生全員が勤労体験学習として田植えを行いました。大半の子供たちは田植えを手伝ったことがあるということでしたが、やはり現代っ子、父兄の方々の手直しの方が大変のようでした。

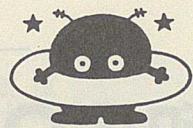
五月晴れもとも
田植え



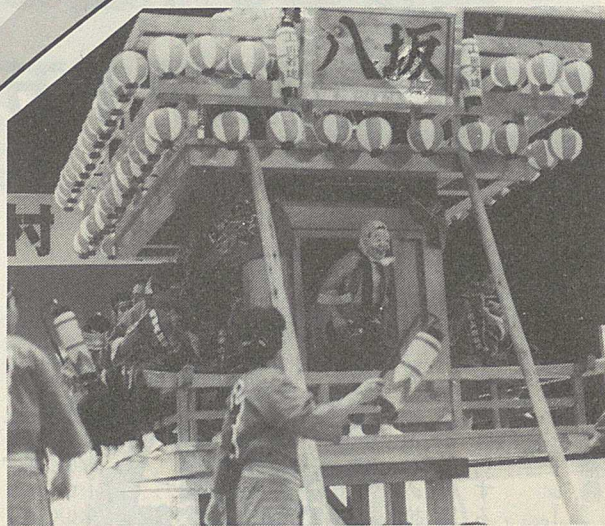
科学万博

TSUKUBA '85

北浦村の日



山車の上の「ひよっこ」は小林快至君、山口利己君、田中敏一君の三人の子供たち



北浦音頭、万博音頭のおどりの輪



▲ 特産物として用意した「セリ」「ミツバ」「レンコン」は会場でひっぱりだこ



▲ 全員そろってのフィナーレ ▲



科学万博
テレホンサービス

● いばらきパビリオン案内 ☎0298-21-5020
● でんでん I N S 館案内 ☎0298-24-5171

● 茨城県土産品案内 ☎0298-32-0000
● 茨城県宿泊案内 ☎0298-31-5100

4月16日

おまつり広場に 初の神輿登場

科学万博開幕からちょうど一ヶ月後の四月十六日、茨城パビリオン「おまつり広場」において市町村催事「北浦村の日」が開催されました。

会場ではおまつり広場で初めての神輿が登場したり、めずらしいハンドベルの演奏が披露されるなど、多彩な催しもので午前の部、午後の部とも大勢の観客でにぎわいました。

この日、朝のうちの雨も上がり天候はまずまず。オープニング、主催者あいさつの後、三育中学生徒によるハンドベル演奏、吹奏楽演奏がつづきます。生徒たちの演奏後の笑顔が印象的でした。

次は、特産物の紹介をはさんで、山田祇園の「山車」、「神輿」の登場です。

にぎやかな祭りの再現に会場近くの人達も思わず足を止め、広場を一周する山車や勇壮な神輿振りに見とれていました。

最後は北浦音頭、万博音頭の踊りとともに好評のうちにフィナーレを迎えました。



フルートアンサンブル ▲
も素敵でした。



「ワーッ」というかけ声とともに舞台からかけおりた神輿。その勇ましさにみんなビックリ！



▲ ハンドベル・クワイアーの13人の生徒たち、指揮は高田先生

おまつり広場は北浦一色

茨城パビリオン

▲ 客席は、午前午後とも大入



昭和60年度の村づくり 30億7千万円でスタート

今年の村づくりを進める昭和六十年度の予算が、三月に開かれた北浦村議会第一回定例会において決まりました。

今年度の予算額は、一般会計が二十億一千六百四十万円。特別会計では国民健康保険六億五千七百九十一万三千円、老人福祉センター七千四百六十六万円、簡易水道五千二百六十三万七千円、老人保険二億七千三百四十八万八千円となり、総額では三十億七千五百万円となりました。

重点政策

広報紙、週報等の発行。



交通・広報



産業振興



生活環境

クータル達成のための対策事業、北浦村全域水田のかめ虫イモチの病虫害防除農業空中散布事業。

繁昌に学習等供用施設建設事業。防犯灯の設置、補修事業。

農道整備事業―長沢地区、宮の下地区。

村道整備事業―柿木逆川道、行戸稲荷道、成田稲荷道、南高岡神社下道。

改良事業―根本山道、中貫堂目木道、武田小通学道、六十塚枝道、十三仏道、野火除道、長野江次木道、山田池下道。

消防ポンプ操法大会の実施、防火貯水槽新設工事、小型動力ポンプの購入、防火水利、消火栓等の標識の整備、屋外消火栓格納箱の設置。



地域消防

老人医療の確保。四十才以上の働き盛りの成人病検診、胃ガン検診、三十才以上の婦人科ガン検診等。予防接種、栄養改善事業、健康教育及び相談。



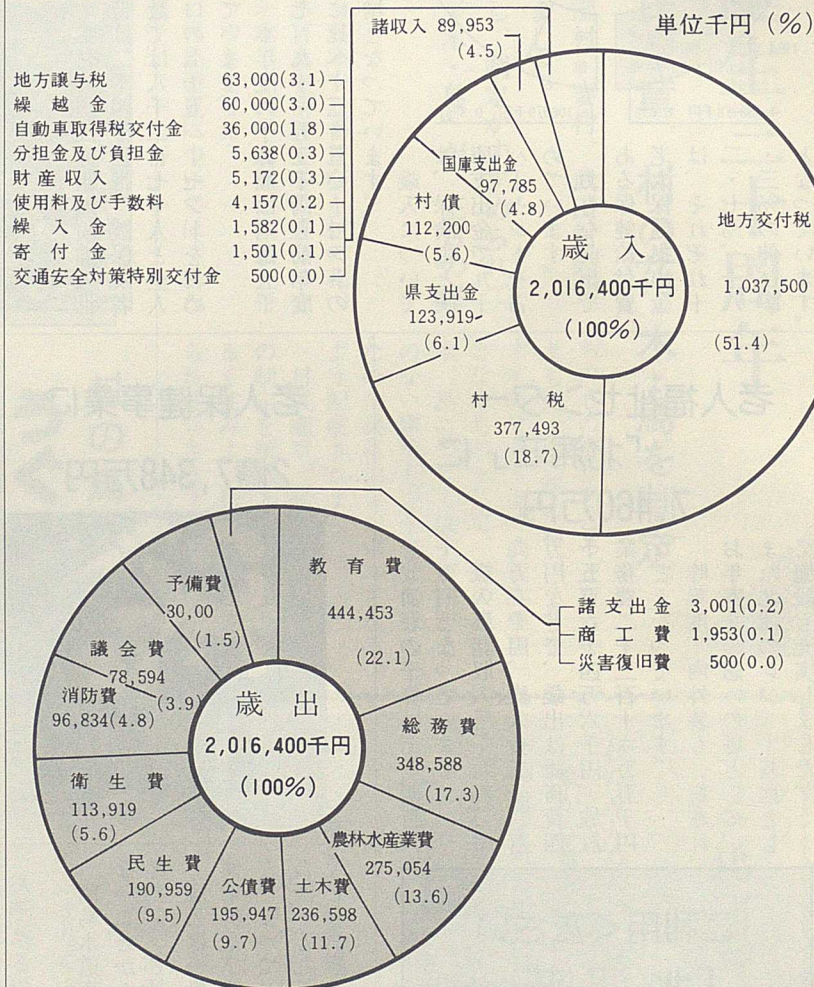
住民の健康づくり

一般会計

津澄小学校校舎建設工事。要小学校及び小貫小学校舎裏側の通路整備工事。武田小学校電盤等取替工事。北浦中学校自転車置き場改築工事。学校教材及び図書整備。文化財保護及び調査事業。文化活動事業及び各種学級講座。成人式。村民運動大会の実施とスポーツ少年団の育成強化。



教育施設



地方自治体を取りまく財政環境は、社会情勢の変化や国の財政危機の深刻化の影響でいぜん厳しいものがあります。このような中で地方財政の健全性をいかにして確保していくかが大きな課題となつていますが、本村の昭和六十年度予算編成にあたっては、行政

効果等の見直しなど財政運営の合理化、適正化に配慮したこともあり、前年度に引続き緊縮型の予算となりました。また、昭和六十年度については、村内小学校校舎の防音改築工事が前年度で一段落したこともあり、新しい時代の住民の要請に充分応えられる基

盤づくりの検討時期の予算ともいえます。六十年代は、一般行政、公共事業を通じて事業量の圧縮や国庫補助負担金の削減など憂慮すべき状況が予想されますが、村政全般の均衡ある発展と住民の福祉向上に向け、諸事業を進めて行きます。

村税の内訳



固定資産税
1億6,561万2千円



村民税
1億3,21万3千円



たばこ消費税
3,450万



電気税
2,750万



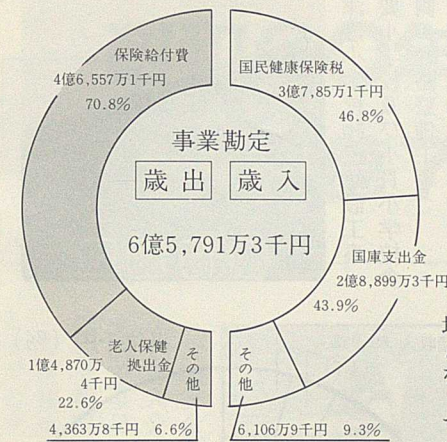
その他
1,773万8千円

特別会計

村が特定の事業を行う場合、一般会計と区別して経理する特別会計には、「国民健康保険」、「老人保険」、「簡易水道」、「老人福祉センター」の四事業があります。

国民健康保険 のために

6億5,791万3千円



本村の国民健康保険加入世帯は二千四十世帯、被保険者数では八千二百七十人と全人口の七十五パーセントを占めています。

本年度の予算額は六億五千七百九十一万三千円と前年度に比べ十三・三パーセントの増となっています。

歳入については、保険税と国庫支出金で九十パーセントを占めています。

おまな歳出である保健給付費、老人保健拠出金は、それぞれ十二・七％、十八・三％の伸び率となっています。

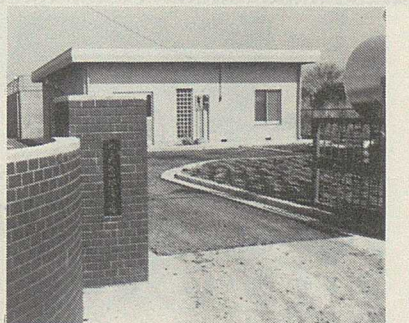
老人保健事業に 2億7,348万円



「老人保健制度」に基づき、七十歳以上老人への医療費に一部負担金導入を取り入れ、さらに四十歳以上を対象に保健予防事業を行う老人保健事業に、本年度は二億七千三百四十八万円を計上しました。

財源としては、支払基金交付金一億九千万円、国庫支出金五千四百五十万円などが見込まれます。歳出は大部分が医療諸費となります。

簡易水道事業に 5,263万7千円



簡易水道事業は今年度も新たな建設事業がないことから、これまでの施設維持管理の経費となっています。

歳入は一般会計からの繰入金三千四百万円、使用料及び手数料一千六百九十八万七千円などとなっており、歳出では、公債費に二千六百四十万九千円、総務費に二千五百六十二万八千円などが見込まれています。

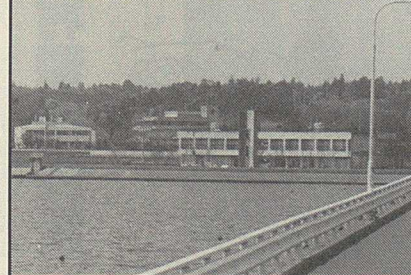
老人福祉センター 「北浦荘」に 7,460万円

北浦荘の予算は七千四百六十万円となっています。

歳入は諸収入三千六百二十九万二千円、繰入金二千八百万円などで、歳出は総務費四千五百六十四万六千円、施設業務費二千三百六十六万五千円などとなっています。

昨年度、内外装も一新され、お年寄りの憩いの場として、また北浦のレジャー基地として施設も充実しました。

ご利用ください
「北浦荘」
0291-5-2821



北浦村誕生三十周年

村民憲章、村の花・木・鳥を制定

昭和三十年四月一日、津澄村、要村、武田村の三村が合併し北浦村が誕生しました。

この合併三十周年を記念し、制定がすすめられていた「村民憲章」「村の花・木・鳥」が、三月の定例議会で決まりました。

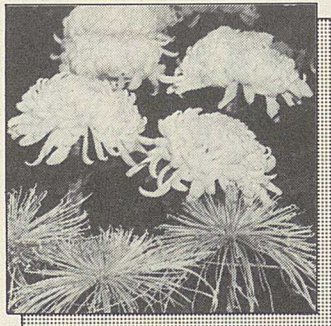
昨年八月一日、「村民憲章」を起草する委員会と村の花、木、鳥を検討する委員会に分別が決定してから、委員会で村民の皆さんからのアンケートをもとに、村民憲章

ちの心の寄りどころとなるとともに、今後の村づくりをすすめていく上での基本理念となるものとして、村の花、木、鳥については、かけがえのない環境を守り育てて行くための具体的シンボルとなるよう配慮されました。

村民憲章、村の花、木、鳥の制定を契機として、より明るく住みよい村づくりが進められていきます。

村の花

きく



村の鳥

つばき



北浦村民憲章

わたくしたちは、古い歴史と

豊かな自然にはぐくまれてきた北浦村民です。

この恵まれた郷土に誇りをもち、

より住みよい村を築くために、

この村民憲章を定めます。

一、心身を鍛え教養を深め

文化の香り高い村をつくりましょう。

一、北浦の湖水と緑豊かな環境を大切に

美しく清潔な村をつくりましょう。

一、時間ときまりを守り

秩序ある平和な村をつくりましょう。

一、お互いに助け合いまごころの通う

明るい村をつくりましょう。

一、仕事に誇りをもち

活力ある村をつくりましょう。

北浦村選挙管理委員会

委員長に原 道夫さん

三月二十日付で、望月茂氏・松田義文氏・高柳信義氏・石崎静夫氏の四名の選挙管理委員が退職したことに伴い、選挙管理委員補充員である平山光雄氏・久保順要氏・原道夫氏・郡司義次氏の四名が新たに選挙管理委員となりました。これにより、三月二十三日に選挙管理委員会が開かれ、委員長に原道夫氏、委員長職務代理者に平山光雄氏をそれぞれ選出しました。

◎選挙管理委員会

委員長 原 道夫（小貫）
委員長職務代理者 平山光雄（吉川）

委員 久保順要（小幡）
委員 郡司義次（次木）

◎選挙管理委員補充員

額賀 林 栄（両 宿）
河野 正（山 田）
矢口善次郎（南高岡）
河野 真（三 和）

助役・収入役が退職

昭和六十年三月三十一日付で助役の宮内曾一氏、収入役の額賀実氏が退職されました。助役、収入役とも昭和五十五年七月一日に選任されてから二期五年八ヶ月にわたりその職を務められました。

宮内曾一氏は職員時代も含めると通算三十九年間行政事務に携わり、額賀実氏も議員時代の豊富な経験を生かし、それぞれ村政の発展に尽力されました。

長い間、ご苦労さまでした。

道路を大切に

～道路の保護維持管理にご協力下さい～



村では生活環境整備の一環として、毎年村道の改良、舗装を行っています。現在、改良舗装道路（改良幅員五メートル、舗装幅員四メートル）をつくる経費は、一メートル当りおよそ五万五千円。一キロメートルの道路では、五千五百万円が必要と

なっています。このように多額の経費をかけてつくられた道路は、私たちの大切な社会的財産といえます。ところが、一見がんにようそんな道路も適切な維持管理が行われなくなると簡単に壊れてしまいます。特に道路側に作られた側溝

は、道路上に降った雨水の排水など重要な機能を担っています。このため、村では側溝の保護、維持管理には十分注意を払っていますが、近頃の農機具の大型化に伴い、側溝部分が埋めたてられ、あるいは耕作されている箇所が見受けられます。側溝は道路を保護するためのもので、あくまで道路の一部なのです。その機能を充分ご理解のうえ、その保護にご協力ください。なお、やむを得ない事情により側溝等に関係する整地や工事などを実施する必要がある場合は、役場建設課にご相談下さい。

2,500人にうかがいます

アンケート

北浦村振興計画 住民意識調査

村では、昭和六十一年度から昭和七十年までの今後十年間の具体的な行政指針となる「北浦村振興計画」の策定に着手しますが、この作業の前段として「住民意識調査」を行うことにしました。

この調査は、ますます多様化する行政ニーズに対し、その内容を見極めるとともに、十年という長い時間のなかで行政がこれにどう対応していくかを検討する基礎資料の一つとするものです。調査の方法は、選挙人名簿から無作為抽出により二千五百人を選定し、回答をお願いします。調査時期は六月中旬を予定しています。この住民意識調査票が届いた方は、回答を記入の上、所定の時期までに返送して下さい。ようご協力をお願いいたします。

健康手帳 高血圧予防 シリーズ①

四十歳以上を対象とする一般健康診査において、北浦村では検査を受けた約半数の人たちに何かしらの異常が認められます。その内容の約七割が高血圧に関するもので、成人病などに深くかわる高血圧の予防が重要な問題となっています。

脈から戻ってくる血液を受け入れるときの圧力を最低血圧あるいは拡張期血圧とよびます。血圧は、年齢、性別、体の大きさなどで違ってくるので非常に複雑なのですが、WHO（世界保健機構）が、各国の学者を集めて定めた基準があり、日本もこれを使っています。この場合、最高血圧、最低血圧のどちらか一方でも高血圧のほうに入っていれば「高血圧」と診断されます。高血圧は、血圧だけが高くてほかに全く異常のみられない本態性高血圧と、腎臓病とかホルモンの異常とかそのほかに原因があつて血圧が上がっている続発性（二次性）高血圧とに分けられ、本態性高血圧が全体の九割以上を占めています。

WHO（世界保健機構）による血圧基準表

	最高血圧	最低血圧
高血圧	160ミリ以上	95ミリ以上
境界高血圧	140ミリ～159ミリ	90ミリ～94ミリ
正常血圧	101ミリ～139ミリ	61ミリ～89ミリ
低血圧	100ミリ以下	60ミリ以下

います。

県民の声を県政に

県政モニター に 児玉秀敏さん



昭和六十年度の県政モニターに、児玉秀敏さん（内宿）が決められました。この県政モニター制度は、県が行っている広報や公聴活動について定期の会合に出席して要望を述べたり、アンケートに答えたりして、県に対して直接提言することが出来ます。

交通遺児育英資金 無利子の利用を

特殊法人自動車事故対策センターでは、交通遺児に対する国の資金による無利子の育成資金の貸付けをしています。自動車事故による交通遺児であつて、○才から中学（義務教育）を卒業するまでの方で、次のいずれか一つに該当している方が対象となります。①生活保護を受けている②生活保護を必要とする状態にある③所得税を納めていない④市町村民税を納めていない⑤市町村民税の均等割だけを納めている⑥国民年金の保険料

連絡したい 消費者問題

みなさんの近所で、セールスマンの訪問や、電話での販売勧誘に困りの方、玩具でのケガや、風呂場や階段での事故など、お聞きになることがあると思います。

この方々を通して、県や市町村の消費行政窓口と連絡してもらおう制度を設けております。昭和六十年四月から昭和六十一年三月まで、北浦村では次の方にこの協力員をお願いしていますので、身近な情報をお寄せ下さるようお願いいたします。

消費者行政推進協力員
東野 サカエさん
（長野江五二八八七）
飯田 タミさん
（行 戸五五三〇五九）

愛犬には

注射と登録を

「狂犬病予防法」により、犬の飼い主には年一回の登録が義務づけられています。犬を飼っている方は忘れずに登録をお願いします。また、これまで年二回の狂犬病予防注射が、今年から年一回となりました。

なお、料金がつぎのとおり
○登録料——二千五百円
○注射料——二千九百円

功助直一 雄俊正 馨苗男 潤彌 禧男 豊男 治伸 夫誠

○登録料——二千五百円
○注射料——二千九百円

「郷土北浦」第八号を発行

北浦村郷土文化研究会（会長宮内金蔵さん）ではこのほど、「郷土北浦」第八号を発行しました。



第八号では、「成田荘園の転領と成田家系図と題す」辺田行基氏、「皆川氏の刻まれた歴史とそのあらし」原伸吉氏など、郷土歴史や民俗研究が十五名の研究家により、執筆されています。

郷土文化研究会では、「郷土北浦」の充実を図るため郷土の文化・歴史・民俗などの資料を収集しています。お手

持ちの方は最寄りの会員または教育委員会へお知らせ下さるようお願いいたします。

「郷土北浦」第八号は、村教育委員会、社会教育係で一部千円で販売しています。

善意

北浦幼稚園へ

○竹ぼうき二十本 山田老人
クラブ若葉会より

○雑巾九十一枚 河野精衛さん（山田）より

○三和小学校へ
○ヒマラヤ杉一本 大野松三さん（三和）より

○椎の木三本 額賀文男さん（三和）より

○椎の木二本 河野豊さん（三和・帆津倉）より

○モチの木一本 河野寛さん（三和）より

○椎の木二本 島田隆義さん（三和）より

庁内人事

◎退職

細内 一三
（武田小学校・用務員）

飯尾 初江

（公民館・用務員）
茂木 米子

（津澄小学校・用務員）
三月三十一日付

◎新採

武田小学校・用務員
小沼 厚子

給食センター・調理手

大里 宗一
津澄小学校・用務員

河野 由美子

◎異動

産業課長

椎名 功（給食センター所長）

給食センター所長

宮内 治（産業課長）

四月一日付・（旧職

あとがき

○遅くなりましたが、昭和六十年年度の一般会計、特加会計をお知らせします。

これから新年度の仕事を始めるわけですが、限られた予算を最大限に生かすため、ご協力をお願いします。

○身近かな話題、ご意見、ご希望等をお待ちしています。

調査企画室までお寄せ下さい。

人口の動き

住民基本台帳調(4月末)	
人口	11,073
男	5,532
女	5,541
世帯数	2,428
転入	103
転出	91
出生	11
死亡	9

区長さんがかわりました

皆さんと村行政を結ぶパイプ役として、活動していただく区長さんが決まりました。

区長	氏名(敬称略)
川 昌根	功助直一
田 1	雄俊正
田 2	馨苗男
田 3	潤彌
田 4	禧男
戸北	豊男
南岡	治伸
岡 高	夫誠
宿 田	
和 江	
木 上	
下 貫	
貫 貴	
小 小	
南 北	
両 内	
成 三	
長 次	
小 小	

(◎区長会長

○副会長)